

「ガス事業法施行規則第108条第12号」

及び

「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律施行規則第44条第1号ム」

の対象となる強制排気式燃焼器の調査方法
(参考資料)

製造会社	連絡先	型式	調査手順
パロマ工業株式会社	CS部 お客様相談室 電話:052-824-5145	PH-81F PH-82F PH-101F PH-102F PH-131F PH-132F PH-161F	A
		PH-8号CF PH-10号CF PH-12号AF	B
株式会社陽栄製作所 (現:株式会社ハーマンプロ)	ハーマン修理受付センター 電話:0120-38-8180 お客様センター 電話:06-4804-8614	S8S7 S8S7B S8S8 S10S7 S10S7B S10S8 S13S7 S13S7B S13S8	C
		SF7-1 S07S01 S08S01 S8S2 S8S3 S10S01 S10S02 S10S3 SF13-1 S13S01 S13S02 S13S03 S13S4 V10S1 V10S2	D
リンナイ株式会社	リンナイお客様センター 電話:0120-054-321	RU-9EF RU-13EF	D
鳥取三洋電機株式会社 (現:三洋電機株式会社)	お客さまセンター 電話:0120-34-3958	GB-FE801	D

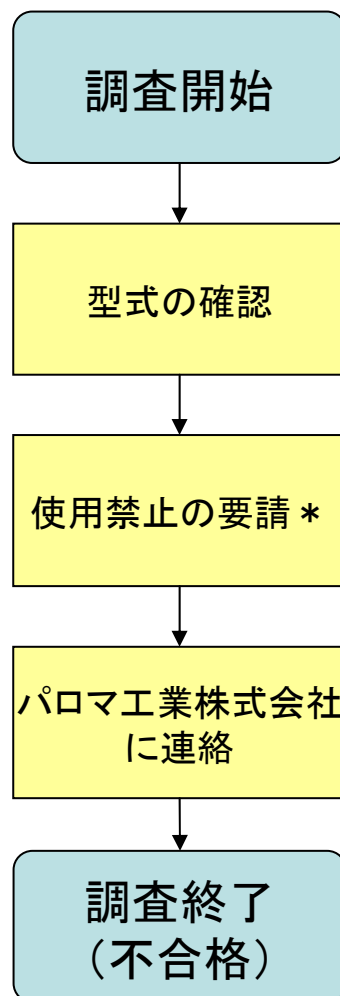
調査手順A～D

調査手順A

【対象となる型式】

《パロマ工業株式会社製》

PH-81F、PH-82F、PH-101F、PH-102F、PH-131F、
PH-132F、PH-161F



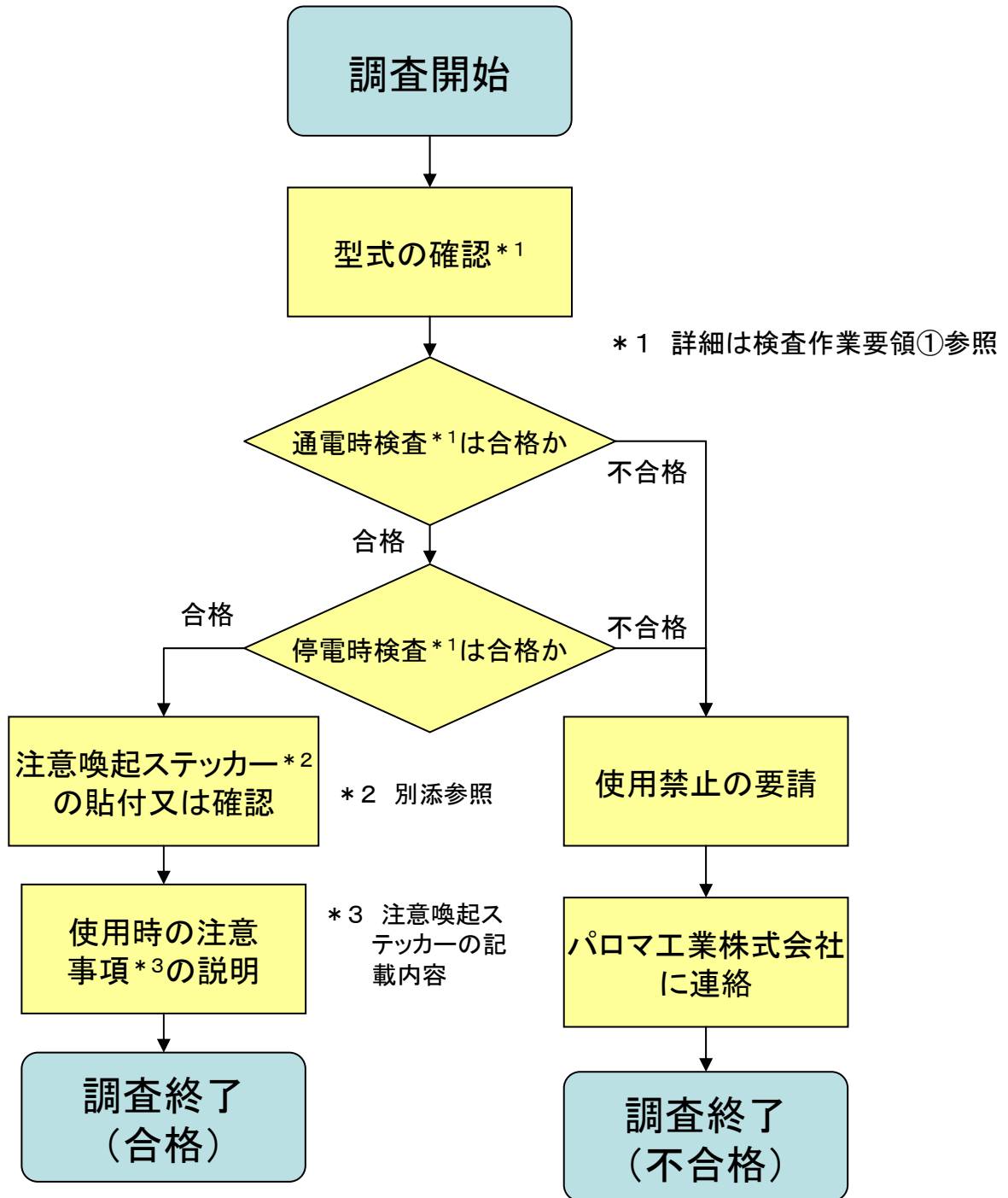
* 当該機器は、消費生活用製品安全法第82条に基づく緊急命令が発出されており、回収対象機器である。

調査手順B

【対象となる型式】

《パロマ工業株式会社製》

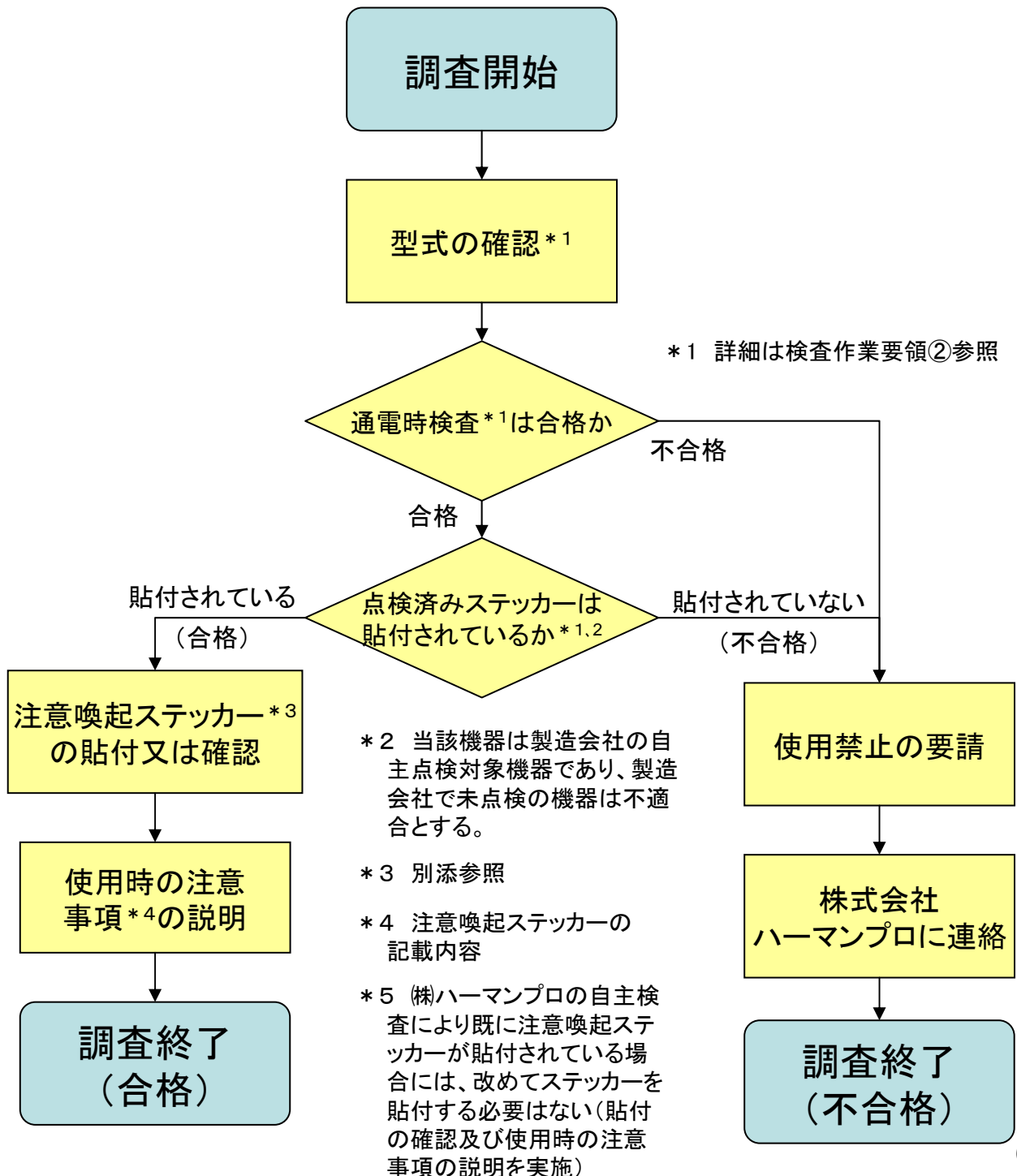
PH-8号CF、PH-10号CF、PH-12号AF



調査手順C

【対象となる型式】

《株式会社陽栄製作所製(現:株式会社ハーマンプロ)》(強制排気ファン内蔵タイプ)
S8S7、S8S7B、S8S8、S10S7、S10S7B、S10S8、
S13S7、S13S7B、S13S8



調査手順D

【対象となる型式】

《株式会社陽栄製作所製(現:株式会社ハーマンプロ)》

(強制排気ファンが器具上部に付いているタイプ)

SF7-1、S07S01、S08S01、S8S2、S8S3、S10S01、
S10S02、S10S3、SF13-1、S13S01、S13S02、
S13S03、S13S4、V10S1、V10S2

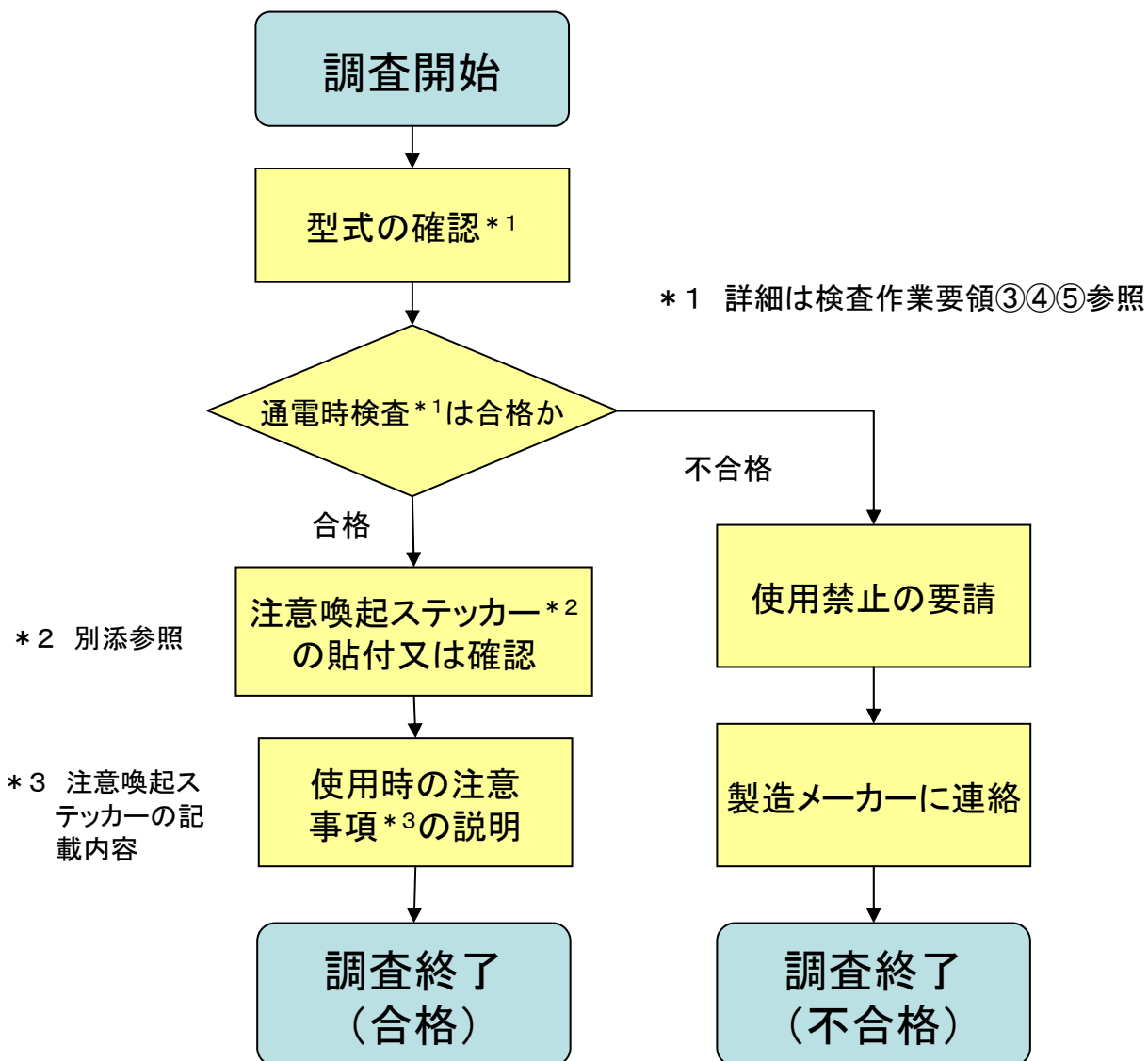
《リンナイ株式会社》

RU-9EF(銘板RU-9号EF)、

RU-13EF(銘板RU-13号EF)

《鳥取三洋電機株式会社》

GB-FE801



検査作業要領①～⑤

特定FE式瞬間湯沸器の検査作業要領①

パロマ工業(株)製

対象型式 湯沸器右側面下部に貼付している銘板の型式が下の対象機種かを確認する。

(強制排気ファンが器具上部に付いているタイプ)
PH-8号CF、PH-10号CF、PH-12号AF

1. 通電時検査要領

通電時検査の手順は次に掲げるとおりとする。

- 手順① コントロールボックスの電源プラグがコンセントに差し込まれているかを確認する。
- 手順② 器具のガス栓つまみを「点火」の位置まで押しながら回し、パイロットバーナーに点火させたのち、更に器具のガス栓つまみを「開」の位置に回してから給湯栓を開き、お湯を出す。(メインバーナーに点火)
- 手順③ 15秒以上経過後、器具のガラリ部(PH-12号AFの場合は、器具上部のパフラー開口部)に手をかざし熱気(排気あふれ)の有無を確認する。
なお、排気あふれにより火傷しないように十分注意する。

判定基準: 手順③において熱気がなければ合格とする。

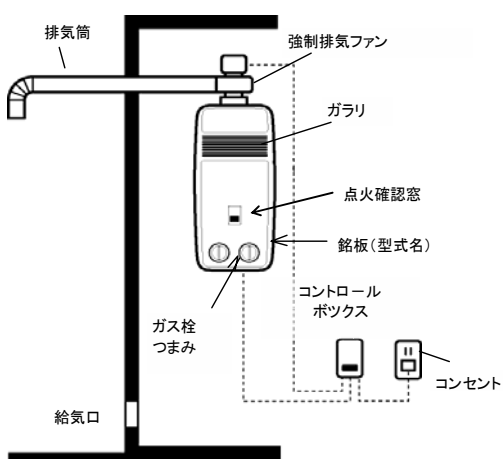
2. 停電時検査要領

停電時検査の手順は次に掲げるとおりとする。

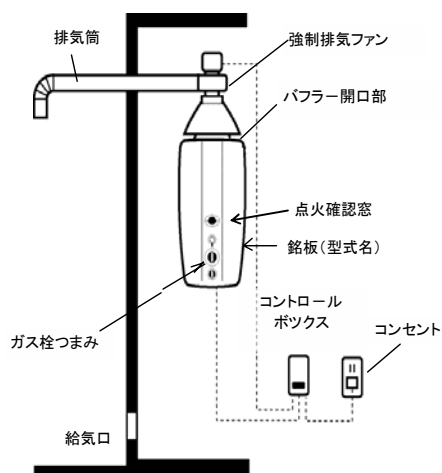
- 手順① 給湯されている状態のままコンセントから電源プラグを外し、瞬時に消火することを確認する。
(メインバーナー・パイロットバーナーともに消火する)
- 手順② 給湯栓を閉じ、器具のガス栓つまみを「止」の位置まで戻し、消火を確認する。
(①で消火しているが、再確認する)
- 手順③ コンセントから電源プラグを外したまま、上記1. 手順②の方法によりメインバーナーに点火しないことを確認する。
- 手順④ 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込む。

判定基準: 手順①において瞬時に消火するとともに、手順③においてメインバーナーに点火しなければ合格とする。

《PH-8号CF、PH-10号CF》



《PH-12号AF》



《連絡先》

パロマ CS部 お客様相談室 TEL 052-824-5145

特定FE式瞬間湯沸器の検査作業要領②
(株)陽栄製作所製 《現:(株)ハーマン製》
【強制排気ファン内蔵タイプ】

対象型式 湯沸器右側面に貼付している銘板の型式が下記の対象機種かを確認する。

S8S7, S8S7B, S8S8, S10S7, S10S7B, S10S8, S13S7, S13S7B, S13S8
 (強制排気ファン内蔵タイプ)

1. 通電時検査要領

通電時検査の手順は次に掲げるとおりとする。

手順① 電源プラグがコンセントに差し込まれているかを確認する。

手順② 器具のガス栓ツマミを「点火」の位置まで押しながら回し、パイロットバーナーに点火させたのち、更に器具のガス栓ツマミを「開」の位置に回してから給湯栓を開き、お湯を出す。(メインバーナーに点火)

手順③ 15秒以上経過後、器具のガラリ部に手をかざし熱気(排気あふれ)の有無を確認する。

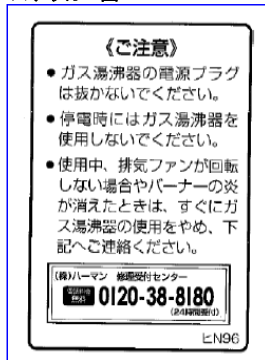
なお、排気あふれにより火傷しないように十分注意する。

判定基準:手順③において熱気がなければ合格とする。

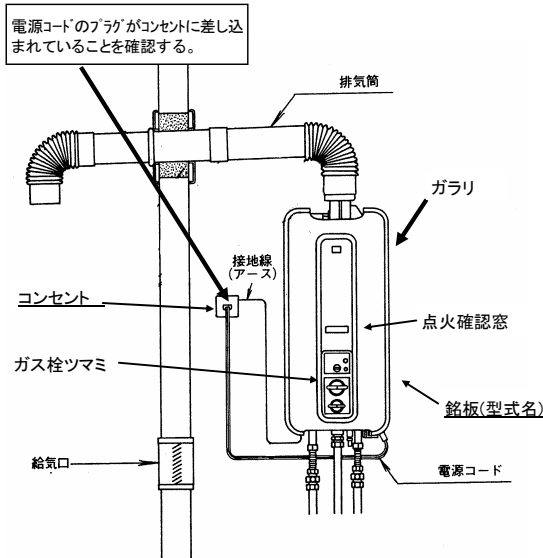
2. ステッカーの貼付確認

下図に示すステッカーが貼付されていることも確認する。

ステッカー図



《強制排気ファン内蔵タイプ》



《連絡先》

ハーマン修理受付センター TEL:0120-38-8180
 お客様センター TEL:06-4804-8614

特定FE式瞬間湯沸器の検査作業要領③

(株)陽栄製作所製 《現:(株)ハーマン製》

【強制排気ファンが器具上部に付いているタイプ】

対象型式 湯沸器右側面に貼付している銘板の型式が下記の対象機種かを確認する。

SF7-1, S07S01, S8S01, S8S2, S8S3, S10S01, S10S02, S10S3,
SF13-1, S13S01, S13S02, S13S03, S13S4, V10S1, V10S2
(強制排気ファンが器具上部に付いているタイプ)

1. 通電時検査要領

通電時検査の手順は次に掲げるとおりとする。

手順① 電源プラグがコンセントに差し込まれているかを確認する。

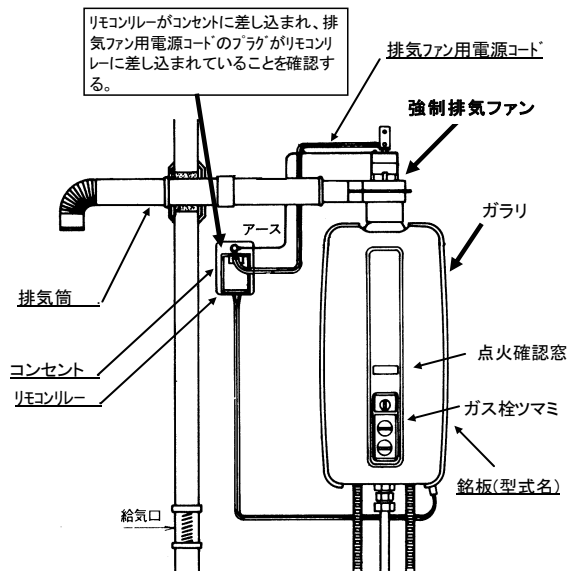
リモコンリレーがコンセントに確実に差込まれ、排気ファン用電源コードのプラグが、リモコンリレーに確実に差し込まれていることを確認する。

手順② 器具のガス栓ツマミを「点火」の位置まで押しながら回し、パイロットバーナーに点火させたのち、更に器具のガス栓ツマミを「開」の位置に回してから給湯栓を開き、お湯を出す。(メインバーナーに点火)

手順③ 15秒以上経過後、器具のガラリ部に手をかざし熱気(排気あふれ)の有無を確認する。
なお、排気あふれにより火傷しないように十分注意する。

判定基準: 手順③において熱気がなければ合格とする。

《強制排気ファンが器具上部に付いているタイプ》



《連絡先》

ハーマン修理受付センター TEL:0120-38-8180

お客様センター TEL:06-4804-8614

特定FE式瞬間湯沸器の検査作業要領④

リンナイ(株)製

対象型式 湯沸器右側面に貼付している銘板の型式が下記の対象機種かを確認する。

RU-9EF(銘板表示:RU-9号EF)、RU-13EF(銘板表示:RU-13号EF)

1. 通電時検査要領

通電時検査の手順は次に掲げるとおりとする。

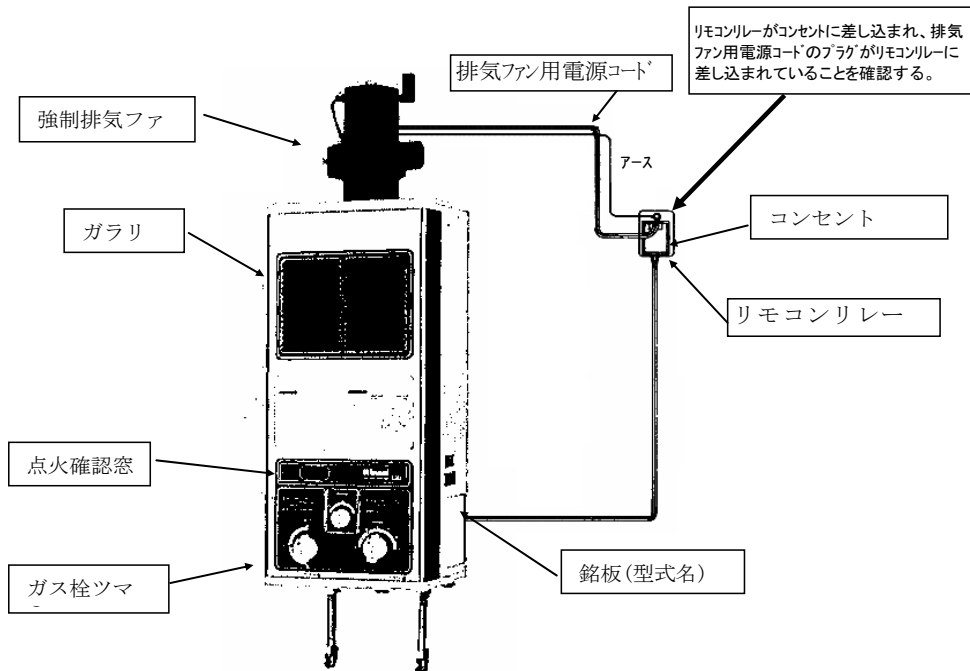
手順① 電源プラグがコンセントに差し込まれているかを確認する。

リモコンリレーがコンセントに確実に差し込まれ、排気ファン用電源コードのプラグが、リモコンリレーに確実に差し込まれていることを確認する。

手順② 器具のガス栓ツマミを「点火」の位置まで押しながら回し、パイロットバーナーに点火させたのち、更に器具のガス栓ツマミを「開」の位置に回してから給湯栓を開き、お湯を出す。(メインバーナーに点火)

手順③ 15秒以上経過後、器具のガラリ部に手をかざし熱気(排気あふれ)の有無を確認する。
なお、排気あふれにより火傷しないように十分注意する。

判定基準:手順③において熱気がなければ合格とする。



《連絡先》

リンナイお客様センター

TEL:0120-054-321

特定FE式瞬間湯沸器の検査作業要領⑤

鳥取三洋電機(株)製

対象型式 湯沸器右側面下部に貼付している銘板の型式が下記の対象機種かを確認する。

GB-FE801

1. 通電時検査要領

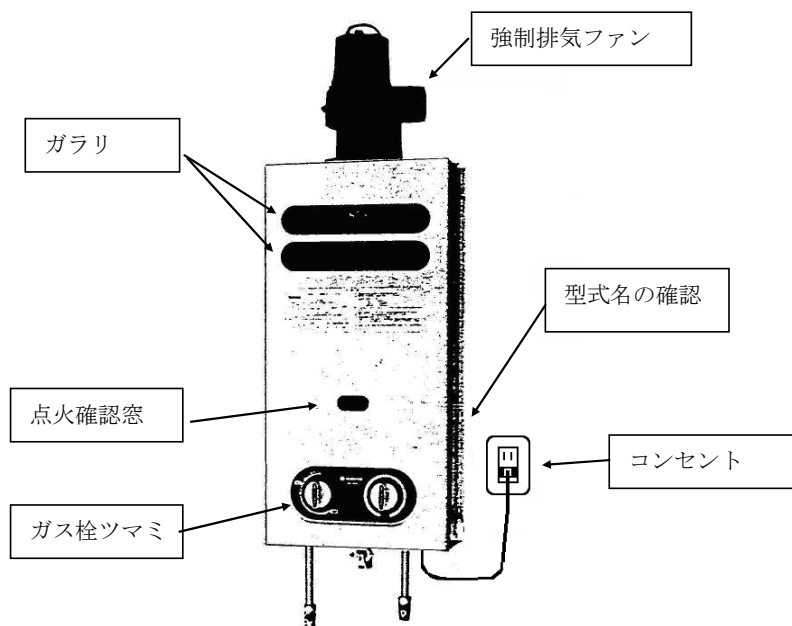
通電時検査の手順は次に掲げるとおりとする。

手順① 電源プラグがコンセントに差し込まれているかを確認する。

手順② 器具のガス栓ツマミを「点火」の位置まで押しながら回し、パイロットバーナーに点火させたのち、更に器具のガス栓ツマミを「開」の位置に回してから給湯栓を開き、お湯を出す。(メインバーナーに点火)

手順③ 15秒以上経過後、器具のギャラリ部に手をかざし熱気(排気あふれ)の有無を確認する。
なお、排気あふれにより火傷しないように十分注意する。

判定基準: 手順③において熱気がなければ合格とする。



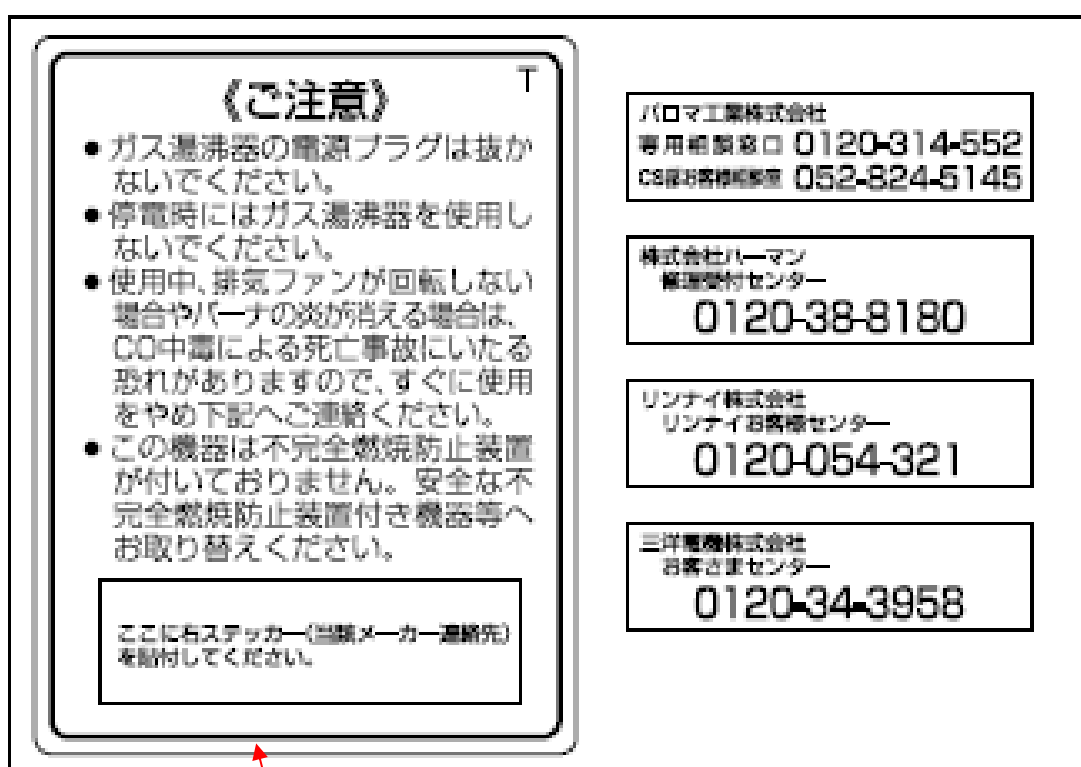
《連絡先》

三洋電機(株)

お客さまセンター

TEL 0120 (34)3958

注意喚起ステッカー



(サイズ) 本体部分 約8.5cm×約6.5cm